

緑の風

バトンタッチ!

新年度よりP.G.T.役員の入替わりがあります。
そこで、新旧会長&副会長の
4人の方に一言いただきました。



いつでも
相談のるぜ

よろしく
お願いします!



現会長 刈間 昌仁さん

P.G.T.会長を3年間務めさせていただきました。この間支えてくださった役員の方々、ご協力いただいた保護者の皆さま、そして校長・教頭先生をはじめ先生方にあらためてお礼申し上げます。学校のことは妻任せだった私が、突如P.G.T.会長となり、戸惑いながらのスタートでしたが、本当に楽しく得難い経験をすることができました。振り返ると、緑が浜小学校のP.G.T.活動の2つの特色①Gが入っていること、②保護者全員のボランティアにより成立していることの素晴らしさを今さらながら感じます。創立時の「やらなければいけないP.T.A.活動ならやらなくてよい。やれる人が、やれる時に、やれることを」という理念が、今でも生きていて、全国的にも珍しい私たちのP.G.T.活動に結実していると思います。私たち保護者全員が、無理なくできる時にできることを、楽しみながら積み上げ、子どもたちにとってより良い環境を学校と協力しながら作り上げていく。この理念と活動を新会長の此川さんに、しっかりバトンタッチします。保護者としてはもう1年お世話になるので、パパボラ活動を楽しみたいと思います。

現副会長 郷古 利彦さん

P.G.T.役員を終えるにあたって

私は、平成23年に孫が入学したと同時に見守り隊に入り、子どもたちの通学の安全を見守った。そして平成25年からは、祖父母(G)の代表として、P.G.T.副会長となった。それから丸4年、今春、孫の卒業と同時にその任を終える。この間、素晴らしい保護者役員、教職員の皆さん、そして取りも直さず明るく闊達な子どもたちに巡り会えたのは、この上ない幸せと喜びであった。役員は降りるが、見守り隊は当面続けようと思っている。保護者の皆さん、一度P.G.T.の役員になってみませんか?苦労は共に。結束力、協調精神、思いやり等が芽生えて、掛け替えない友情が生まれるようです。

前任者の郷古さんは気配りの行き届いた緻密な仕事をされる方というのは、すでに皆さまご承知のとおりでして、器の違う後任としては、とても同じようには務まらないとの思いしております。しかしながら、退任しても、郷古さんが私の至らない点は万事補ってくださるとのお言葉を支えとして、新しい任を務めさせていただきます。子どもたちは国の宝です。この思いをもって努めてまいります。

新会長 このかわ かおり 此川 香さん

初めて書記としてP.G.T.役員をさせていただき、学校の先生、保護者や見守り隊の皆さんの温かなご支援・ご協力を肌で感じました。私が新会長という大役に臨む決心ができたのは、「みんなで一緒に支え合う」この緑小独自のP.G.T.組織のお陰です。29年度は『P.G.T.からの情報発信と語り合う場づくり』という、刈間会長の想いを形にしていきたいです。『此川』(このかわ)という読みづらい名前ですが、気軽に話しかけていただけたら嬉しいです。どうぞよろしくお願いします。

新副会長 もろの よしゆき 諸野 義之さん



お任せ
ください


郷古さんは、吉野正隆さんとともに、「緑っ子見守り隊」として、茅ヶ崎市教育委員会から感謝状を授与されました(昨年に続き2度目)。いつも子どもたちの安全をありがとうございます!

『子どもはつらいよ』発表会


クラブ活動ってなんだかドキドキ。低学年のお子さんにとっては、ちょっぴり「大人」な感じがしますよね。緑が浜小学校には現在10のクラブがあり、4年生から参加することができます。活動は年間7回、火曜日の6時間目です。

今回紹介する演劇クラブは、今年度は8名で活動しました。なんと演劇のテーマはクラブ員自らが提案して決め、ひとつひとつの場面状況を考えて作り上げているそうです。セリフも子どもたちが自分で考えます。今年は、いじめをテーマにした題材「子どもはつらいよ」。クラブ員の間で自然に出てきたテーマです。1月6日には茅ヶ崎市内の小学校合同で行われる発表会にも参加しました。それぞれのクラブがお互いを評価し合い、良い演劇交流の場となったそうです。


1月31日のお昼休みには、緑小でも発表会が行われました。観ている子どもたちが声を出して参加する場面も！まさに役者と観客が一体になった瞬間でした。全校児童を観客に、それぞれのクラブ員が生き生きと役を演じていたのがとても印象的で素敵でした。皆で力を合わせて1つのものを作り上げるって素晴らしいですね。今後の活躍がますます楽しみです。



演劇クラブに入って今まで関わったことのない子と関わられるようになった！クラブ前半はゲーム、後半は交流会の練習。どちらも楽しいです。



舞台上上がるときに緊張しなくなりました。自分に自信がもてたり、仲間と協力することもできます。

昼休みってあるんですか？サッカーできますか？

→ 昼休みは15分しかないんだよ。そこでボールを蹴っている子もいます。でも、昼食の時間が短いので、1年生は慣れるまで少し時間がかかるかもしれないね。

6年生！

中学校出前授業

2月15日。6年生の前に、浜須賀中学校の先生方がお見えになりました。子どもたちの表情はちょっと緊張気味に。1組は社会科、2組は国語の出前授業です。でも、そこは経験豊富な先生方に、経験豊富な6年生。元気に楽しい雰囲気です。授業が進むと、子どもたちはすぐリラックスして発言や話し合いをしていました。中学校へ行く前に気になることもあるけれど、「大丈夫！少しずつ慣れていけばいいんだよ」と先生が声をかけていました。翌日は松浪中学校からも先生が来てくれました。中学校でも緑っ子らしく、のびのび活動できますように！



小学校といちばん違うところはどこですか？

→ 教科担任制になることかな。教科ごとに専門の先生が教えてくれます。

P.G.T. 親睦会 盛り上がるモノづくり交流♪

2月15日、初めて3階の図工室を開けると、ワイワイにぎやかな声。総勢47名の方が参加され、P.G.T.親睦会が開かれました。最近の蕎麦打ち、味噌づくりは約30名の参加だったので、今年はさらに大盛況でした！今回は、湘南地域で教室を開く先生を招いてレザークラフトにチャレンジです。初めて隣り合う方でも工程を質問しあったりするうち、ワイワイと楽しい雰囲気になり、出来上がった時には握手しあう姿も。参加費の一部はP.G.T.から補助され、会費もオトク。

最後にお茶をいただき、本当に楽しいひと時でした。準備をしてくださったP.G.T.役員のみなさま、ありがとうございます！思わず来年も楽しみになっていました♪

総勢47名の方が参加！



定期入れ、ウォレットケース、キーケースの3種類の中から、選んで制作。



緑小はまかせたよ！～6年生を送る会～

2月24日、各学年から6年生へ感謝の言葉と歌や合奏のプレゼントがありました。お世話になった6年生への感謝の気持ちと同時に、次は自分たちが引き継いでいくぞ！という決意を感じる送る会となりました。最後は5年生の合奏「大切なもの」に合わせて、6年生が退場しました。たくさんの「大切なもの」を教えてくれた6年生のみなさん、ご卒業おめでとうございます！

ずーっと大好き！



1年生 かわいい声を歌「くじらぐも」に乗せて合唱。贈る言葉は「校歌や牛乳パックの片付けなどたくさん教えてくれてありがとう。」

ありがとうがいっぱい！



2年生 合奏「小さな世界」の後は、みんなで贈る言葉。「立派な6年生になります！ありがとう！」

6年生今までありがとう！



3年生 PPAPのノリでダンスしながら、全員でピコ太郎。そして、息の合った合奏「友よ～この先もずっと～」。

どんな時も一人じゃない♪



4年生 6年生に感謝とエールを込めて歌った、素晴らしいハーモニーの「Dream&Dream～夢をつなごう～」。

来年は僕たちが引っ張っていきます！



5年生 力強く一体感のある合奏「恋」。見ていた子どもたちも思わず恋ダンス。

中学生では勉強や部活をがんばります！



6年生 思いを込めて歌った「未来への賛歌」。そしてボンゴの響きと重厚感たっぷりな「アフリカンシンフォニー」の合奏。



そだちの教室が始まります

2019年4月スタート!



体育館の上にあった特別活動室が、改修工事を終えて、「そだちの教室」として生まれ変わります。東海道線から南側のエリアにも開設したいの思いから、緑小に開設が決まりました。

実は、吉野校長先生は、緑小に赴任される前に、教育委員会でこの通級指導教室を推進するお仕事をされていたそうです。前々号でも「インクルーシブ教育」について教えてくださった吉野先生。緑小だけでなく、茅ヶ崎の子どもたちが、一人ひとりの個性を大切に、学校生活を楽しく過ごせるように尽力なさっていたのですね。



「そだちの教室」では、集団活動の中で課題をもつお子さんを対象に、一人ひとりに合わせた学習方法やコミュニケーションのスキルを身に付ける指導や支援を行います。通級指導教室と言って、市内の小学校に通うお子さんが授業時間の間に保護者と通います。「そだちの教室」の窓口は独立していますが、同じ敷地内にあり、昇降口も共有します。新しい友達を見かけたら、ウェルカムな気持ちで迎えましょう!

何かあればいつでもご相談ください!



山本理恵先生

※心配のある児童がいる場合、関係者で検討してスクールカウンセラーにつないだり、ふれあいさんについてもらったり、必要があれば臨床心理士さんに来てもらうなどの総合的な統括をする。

子育てに対する悩みはどこのご家庭にもあって、どのご家庭も一生懸命子どもと向き合っていると思います。子どもの悩みは、ご家庭や保護者の方への評価とは全く関係ありません。学校の様子をよく知っている先生や、専門の方に相談することで、今までと違った視点から見ることもできることもあります。その子にとっての一番いい方法を私たちも知りたいので、保護者の皆さんと一緒に考え、見つけていきます。

子どもはそれぞれ発達や成長に違いがあると思いますが、学校では、子どもたちがいる程度の中のルールの中で、集団や困っていることがあります。みんなが、自分らしく笑顔で学校生活を送れるように、この子は支援が必要、この子は大丈夫ということではなく、どんな子にもわかりやすいやり方を先生が勉強したり工夫したりしながら、環境整備することが支援に繋がると思っています。

それと、大切なことをもう一つ。子育てにおいて行き詰まったり、きついたり感じたりした時、家庭では対応しきれないと思つた時は、いつでも学校に相談してください。担任の先生でも、直接私でも構いません。



子どもはそれぞれ発達や成長に違いがあると思いますが、学校では、子どもたちがいる程度の中のルールの中で、集団や困っていることがあります。みんなが、自分らしく笑顔で学校生活を送れるように、この子は支援が必要、この子は大丈夫ということではなく、どんな子にもわかりやすいやり方を先生が勉強したり工夫したりしながら、環境整備することが支援に繋がると思っています。

緑小にできる、そだちの教室。そこでも耳にした、最近よく聞く「支援」という言葉。でも、支援って一体どういうこと?うちの子、他の子に比べて落ち着きないけど、支援してもらったほうがいいの?というところで、特別支援教育コーディネーター(※)の山本先生に疑問をお聞きしてきました。

先生! 質問です!



編集後記

今年度最後の号になりました。

P.G.T.1年生の私は、広報を通して緑が浜小学校の1年をとってもよく知ることができました。そして何よりも校長先生、教頭先生、先生方との距離の近さに驚きました。先生方、協力して下さったたくさんの皆さま、本当にありがとうございました。今後とも『緑の風』をどうぞよろしくお願いいたします!

新年度はP.G.T.の会長、副会長の入れ替わり、通級指導教室『そだちの教室』が開設されます。新しい風が吹きそうです。

広報ボランティア大募集!

なんだか大変そう…。と思われがちな広報ボランティア。しかしやってみると、楽しくて、充実していることの方が多いです。来年度のメンバーになって、ぜひ一緒に作ってみませんか?!



メンバー 随時募集中!